

学位被授与者氏名	孫 華琛
論文題目	香港における中国系銀行の影響力の変化 ―実体経済と金融市場を軸に―
論文審査結果の要旨	<p>本論文の特徴は以下である。第一に、実体経済での香港と中国との関係が、貿易金融、貿易決済における人民元の選択、直接投資に伴う投資銀行業務などを通して、金融面での中国系銀行の役割を拡大させたことに注目したこと、第二に、金融制度の展開が、香港における中国系銀行のさらなる躍進をもたらしたことを明示していること、である。また、上海と香港の間での株式相互投資がスタートした2014年11月の後では、それ以前と異なり、上海から香港に対する株価のグレンジャー因果が、5%有意で検出されている。中国本土の香港への影響力が高まっている状況を示唆しているという意味で、興味深い実証である。</p> <p>本論文は、これまで香港の金融システムについて、貿易、直接投資、人民元の国際化、など各テーマに基づきばらばらに論じられることが多かった先行研究に対して、中国系銀行のプレゼンスの増大という一貫した視角を通すことによって、それらを統合的に整理している。そのうえで、中国系銀行の役割が拡大していることを一定程度抉り出すことに成功している。こうした意味で、本論文については、一定の評価ができるといえよう。ただし、中国系銀行のプレゼンスが高まることの評価および是非については、今後の課題として触れておらず、やや不満が残る。しかし、修士論文としては良好な完成度に達していると判断できるだろう。</p> <p>2022年2月24日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館3-218室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して、論文の説明と質疑応答によって学力を確認し、全員一致で当該論文が修士（経済学）の学位に値する内容であると判定した。</p>